

一般細菌培養同定における主な材料の釣菌基準

菌名	喀痰		咽頭	尿 ^{※3}	腔分泌物	血液・髄液
	炎症所見あり ^{※1}	炎症所見なし ^{※2}				
黄色ブドウ球菌 (MRSA含む)	◎	△	○	○	○	◎
コアグララーゼ陰性ブドウ球菌	△	△	△	○	○	◎
β溶血連鎖球菌	◎	△	◎	○	◎	◎
肺炎球菌	◎	○	◎	○	◎	◎
腸球菌	△	△	△	○	○	◎
腸内細菌目細菌	◎	△	△	○	○	◎
緑膿菌	◎	△	○	○	○	◎
アシネトバクター	◎	△	△	○	○	◎
インフルエンザ菌	◎	○	◎	—	◎	◎
モラクセラ カタラリス	◎	○	◎	—	—	◎
目的菌検索あり	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎: 1コロニーから釣菌します。

○: 少数でも釣菌します。

△: 優位に発育した場合に釣菌します。

—: 対象外

※1: Geckler分類がグループ3, 4, 5に判定されるか、塗抹検査にて炎症所見や、臨床症状が認められた場合。

※2: Geckler分類がグループ1, 2, 6に判定されるか、臨床症状が認められない場合。

※3: 外来患者の感受性検査については、優先菌1菌のみ実施となります。